

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第23号

令和3年10月22日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から見た大関小学校児童の姿

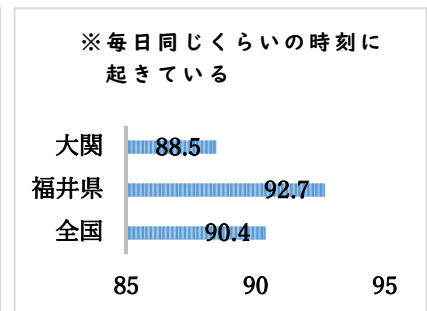
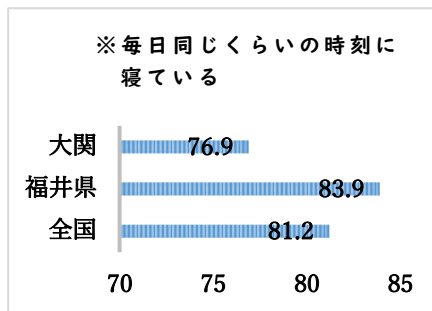
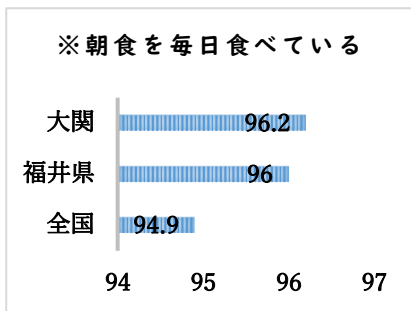
全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も併せて行われています。今回は、昨日配付した全国学力・学習状況調査の教科に関する調査結果に引き続き、生活習慣や学習状況等に関する調査結果について、主なものを抜粋しお知らせいたします。

学校では、今回の結果をもとにさらなる教育活動の工夫と改善に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、分析結果を参考にいただき、ご家庭での生活習慣や学習習慣の改善にお役立ていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2 生活習慣や学習状況等に関する調査結果

- ・ 県・全国に比べ良好なこと…◎ 県・全国に比べ課題となること…▲ 結果をふまえて…□
- ・ ※印の項目の値は、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）の合計
- ・ グラフの単位は（％）

○生活習慣について

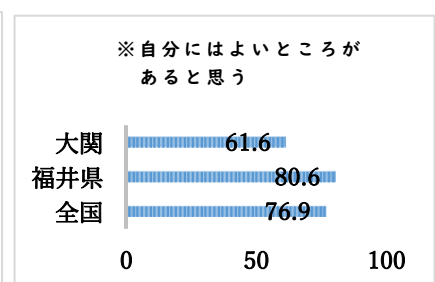
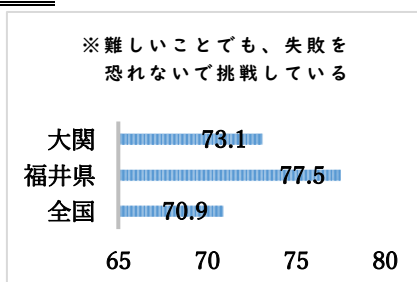
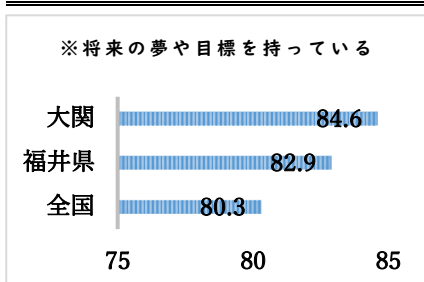


◎朝食を毎日食べていると回答した児童は、県・全国の平均を上回っています。

▲毎日同じくらいの時刻に起床、就寝していると回答した児童は、県・全国平均を下回っています。起きる時間や寝る時間が日によって違うことがわかり、規則正しい生活が送れていない児童もいることが明らかになりました。

□「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣は、学習意欲にも繋がります。毎日、規則正しく生活することが大切です。起きる時間や寝る時間を決めて、毎日同じリズムで生活できるよう、今後も「にこいきチェック」を続けながら、自己管理能力の育成に努めていきます。

○自分自身に関することについて



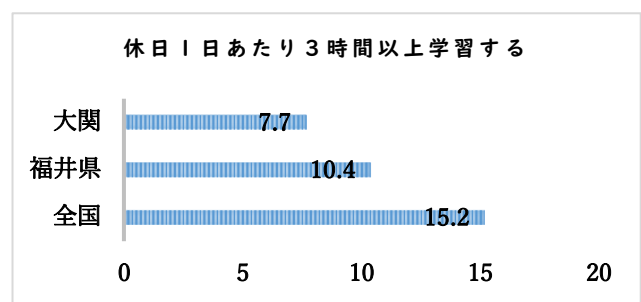
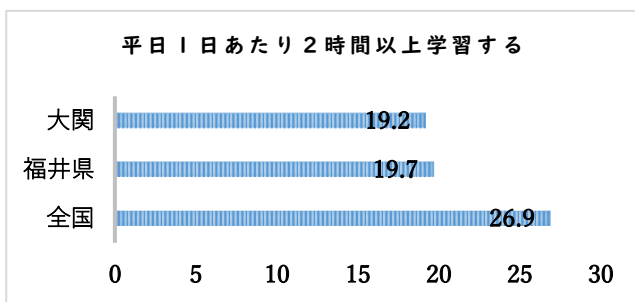
◎「将来の夢や目標をもっている」という児童の割合は、県・全国平均を上回っています。将来の夢や目標をもち、前向きに生活している児童の姿が見られます。

▲「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童の割合は、全国平均は上回っているものの、県平均は下回っています。失敗を気にして難しいことに取り組もうとしていない児童が3割程度いることがわかります。

▲「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合が、県・全国平均を大きく下回っています。自己肯定感があまり高くなく、自分に自信がもてない児童が多いことが明らかになりました。

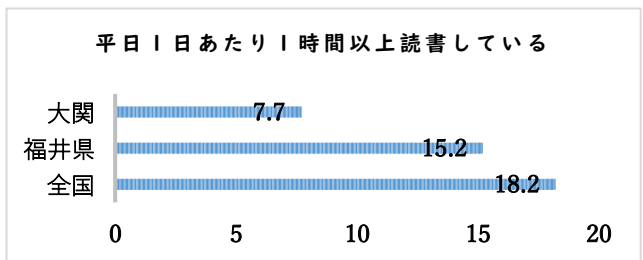
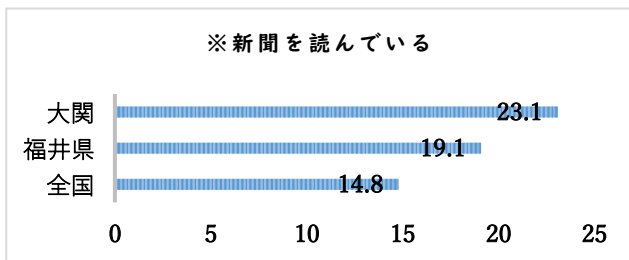
□今後は、ポジティブ教育を推進しながら、児童一人一人を誉め、認めることで、児童自らが自分の良さを理解し、自己肯定感や自己有用感が高まる取組をさらに進めていきます。そして、児童にとって、様々な活動に自信をもって明るく前向きに取り組める「魅力ある学校」を目指していきます。

○家庭での様子について



▲「平日1日のあたりの学習時間が2時間以上」、「休日1日あたり3時間以上学習する」と回答した児童の割合は、いずれも県・全国平均を下回っています。また、休日に「全くしない」と答えた児童も2割程度いるなど、家庭での学習時間が少ないことがわかりました。

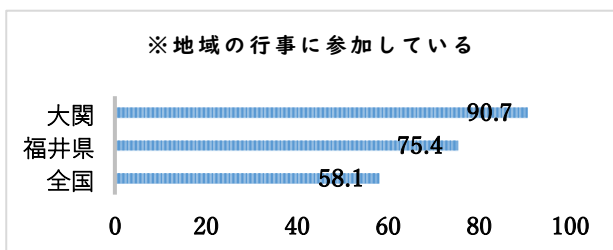
□自ら計画を立て、進んで学習に取り組める児童の育成を目指し、学習に応じて課題の出し方を工夫したり、宿題以外に学習の定着のための自主学習のやり方を提示したりしていきます。



◎「新聞を読んでいる」と回答した児童の割合は、県・全国平均を上回っています。逆に「全く読まない」と回答した児童が半数を超えていることもわかりました。

▲「平日1日あたり1時間以上読書している」と回答した児童の割合が、県・全国平均を大きく下回っています。また「10分より少ない または全く読まない」児童が約半数おり、読書時間が十分ではないという傾向が見られました。

□学校では一日10分、一週間で50分の読書時間を確保しています。今後も、家庭における週末読書や親子読書を通し、読書量を増やす取組を継続していきます。



◎「地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、県・全国平均を大きく上回っています。児童が地域行事に参加し、地域の人とつながりをもっていることがわかります。

□今後も、家庭や地域と学校が一体となり、児童の成長を支えていけるよう努めていきます。